

令和7年度「シラバス」 教科：保健体育 科目：体育

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 1 年	教科書 副教材等	新高等保健体育（大修館書店） Active Sports 2025（大修館書店）
学習目標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	1 オリエンテーション 2 体づくり運動 3 球技①（ソフトボール・バレーボール） 4 体育理論			・「体育」の学習についての意義や内容、評価の方法を理解する。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方を理解する。 ・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができるようにする。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができるようにする。	
2	1 体づくり運動 2 球技②（テニス・バドミントン） 3 陸上競技（長距離走） 4 体育理論			・自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。	
3	1 体づくり運動 2 球技③（サッカー・バスケットボール） 3 体育理論			・手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、実生活に役立てることができるようにする。 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができるようにする。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。			
思考・判断・表現		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度		生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。			
評価方法	学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、おもに「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「スキルテストや小テスト」により評価します。また、学年の成績は上記の観点から評価した各学期の成績の相加平均とし、5段階法でも評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解しよう。 ○ 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ○ 各運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。					

